

就労継続支援A型 基本報酬に関する届出書  
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4017801962									
事業所名称	ラベンダー地域支援センター									
事業の種別	●	就労継続支援A型	指定年月日	令和4	年	12	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	<input type="checkbox"/>	有	<input type="checkbox"/>	無	公表年月日	令和7	年	4	月	14	日
公表方法 (該当するものに●)	<input type="checkbox"/>	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)									
	<input type="checkbox"/>	URL	<a href="https://www.m-lavender.net">https://www.m-lavender.net</a>								
	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法を記載してください)									
	<input type="checkbox"/>	具体的な方法									

3 基本報酬算定区分

(I) 労働時間	40	点
(II) 生産活動	40	点
(III) 多様な働き方	15	点
(IV) 支援力向上のための取組	5	点
(V) 地域連携活動	10	点
(VI) 経営改善計画	0	点
(VII) 利用者の知識・能力向上	10	点

合計  

120
-----

 点  
 / 200点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- ・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添42-1から42-4までの各様式を使用してください。
- ・ 地域貢献活動の報告書の公表については、別添42-3の様式を使用してください。
- ・ 利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添42-4を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

※ 緑色のセルのみ入力してください

事業所名: ラベンダー地域支援センター
住所: 北九州市小倉北区三萩野一丁目8-13
電話番号: 093-922-3305

事業所番号: 4017801962
管理者名: 奥村 清隆
対象年度: 令和6年度

(I) 労働時間
①1日の平均労働時間が7時間以上
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満
⑧1日の平均労働時間が2時間未満
40点

(IV) 支援力向上(※)
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会
②研修、学会等又は学会誌等において発表
③視察・実習の実施又は受け入れ
④販路拡大の商談会等への参加
⑤職員の人事評価制度
5点

(II) 生産活動
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満
40点

(IV) 支援力向上(※)
⑤職員の人事評価制度
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している
⑥ピアサポーターの配置
ピアサポーターを職員として配置している
⑦第三者評価
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている
小計(注2) 4点

(III) 多様な働き方(※)
①免許・資格取得、検定の受検制度に関する制度
②利用者を職員として登用する制度
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
④フレックスタイム制に係る労働条件
⑤短時間勤務に係る労働条件
⑥時差出勤制度に係る労働条件
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度
⑧傷病休暇等の取得に関する事項
15点

(V) 地域連携活動
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している
10点

(VI) 経営改善計画
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。
0点

(VII) 利用者の知識・能力向上
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。
10点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

項目別スコア表: 労働時間(40), 生産活動(40), 多様な働き方(15), 支援力向上(5), 地域連携活動(10), 経営改善計画(0), 利用者の知識・能力向上(10)

合計スコア: 120点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	1,873.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	445	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.2	時間
-----------------------------	---------	----	-------------------	-----	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（令和6年4月～令和7年3月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円	収支		円
-----------------	--	---	--------------	--	---	----	--	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	1,200,000	円	利用者に支払った賃金総額	1,141,250	円	収支	58,750	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	1,900,000	円	利用者に支払った賃金総額	1,860,009	円	収支	39,991	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名	栽培講習
※研修講師	藤野
※実施日	5/20・21、7/22・23、8/19・20、9/19・20、10/1・2・3、10/15・16、12/5・6、1/16・17、3/27・28

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input type="checkbox"/>
※研修、学会等名	
※実施日	月 日
※学会誌等名	
※掲載日	月 日
※発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※実施日	6/5 門司特別支援学校 視察
※実施人数	9/17～20 行橋高校 実習受入 4名

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名	商談販売兼研修会
※主催者名	小倉小売酒販組合
※日時	令和7年1月16日
※内容	酒類販売及び商談会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input type="checkbox"/>
※人事評価制度の制定日	年 月 日
※人事評価制度の対象職員数	名
※うち昇給・昇格を行った者	名
※当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
※就業時間	
※職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
※第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
※規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input type="checkbox"/>
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

### 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ラバンダー地域支援センター
住所	北九州小倉北区三萩野一丁目8-13
電話番号	093-922-3305

事業所番号	4017801962
管理者名	奥村 清隆
対象年度	令和6年度

#### 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所 新地葡萄農園        実施日程 令和6年8月28日        あけぼの幼稚園と連携して葡萄収穫体験        園児15名、保育士4名、職業指導員1名、管理者1名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>     
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>葡萄収穫の体験を通して食べ物への関心を育てる        地域の児童との関りを持って農作業への興味を持つ</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>初めての葡萄収穫体験を楽しんでいた        今後も年長クラスに対して継続したい        徒歩と送迎車との連携が出来ていなかった</p>	

#### 連携先の企業等の意見または評価


<p>初めての葡萄収穫体験だったため事前の打ち合わせや当日の段取りがうまくいかず待機時間が出てしまった事が今後の課題ではあるが、園児が喜んで収穫する姿は良かった。        今後も継続していただけるとありがたい。        このような体験はなかなか出来る事ではない。</p>
---

連携先企業名	あけぼの幼稚園	担当者名	嶋田 由紀子 園長
--------	---------	------	-----------

### 就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ラベンダー地域支援センター	事業所番号	4017801962
住 所	北九州小倉北区三萩野一丁目8-13	管理者名	奥村 清隆
電話番号	093-922-3305	対象年度	令和6年度

#### 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所：ラベンダーファーム（吉志葡萄農場）          実施日程：令和7年1月16日～17日          実施の概要：葡萄栽培における指導          参加利用者：就労継続支援A型 2名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>   <p>今年の収穫に向けて剪定を指導いただいた。</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>知識・能力向上に係るねらい：専門家による直接の講習で栽培の理解を深める          利用者にとってのメリット：葡萄栽培の専門家による直接の指導を当ファームで行っていただける事</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果：昨年に引き続き細かい事を確認でき直接教わる事が出来て理解が深まった          得られた成果：作業工程が確認できた          課題点：定期的な講習会を予定する</p>	

#### 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>前期の葡萄栽培講習会は○回あり、栽培、収穫、醸造、瓶詰め工程を指導させていただいた。まだまだ細かい指導は必要だが、結果として2,000本のワインが生産できた事は仕事の成果が形になった喜びを感じていただけたと思っている。定期的に顔を合わせ直接指導する事で利用者の皆様の理解度が増しているように感じています。</p> <p>今後も講師、職員、利用者が一体となって共通の理解の元で作業が行われるように、定期的に講習会を継続したい。</p>	
連携先企業（担当者）	メルシャン株式会社 藤野氏

#### 利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価</p> <p>去年より知識が増えたとても勉強になった          一日指導を受けたのでこれからの作業に生かしていきたい</p>
---